

航空機火災対応の特徴と課題 等

令和7年10月
総務省消防庁特殊災害室

航空機火災対応の特徴と課題(検討会における主な論点(素案))

1 空港消防等の空港との連携の強化

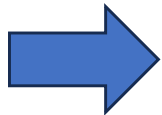
- ・ 空港における保安体制・設備等の継続的な把握
(空港消防力・設備、緊急時対応計画、通信体制、訓練による見直し 等)
- ・ 就航航空機情報の把握
(機体素材、リチウムイオン電池、燃料、非常ドア開放方法 等)

2 航空機火災に対応した活動基準等の整備

- ・ 空港緊急時対応計画等を踏まえた対応方針
- ・ 警防計画の策定、近隣消防本部も含めた消防力の把握、安全対策

3 消火救助方法等

- ・ 技術・装備等の進歩 (無人走行放水ロボット・海水利用型消防水利システム
・ 屈折放水塔車 等)
- ・ 航空機火災の特性を踏まえた消火・救助方法等



航空機火災に対応する消防機関が留意すべき事項を手引きに記載

消防機関における航空機火災対応の手引き(仮称)の構成(素案)

1. 航空機災害の状況

1-1. 民間航空機の事故統計

- 事故件数、死亡事故件数、事故要因、火災発生件数
- 運行形態別(離着陸時など)の事故件数

1-2. 航空機火災事例

- 空港内
- 市街地

2. 航空機火災に対する役割

2-1. 空港管理者の役割

- 国際民間航空条約(シカゴ条約)に基づく責務
- 航空法及び関連規程
- 空港の種類
- 空港の設備整備・保安管理・防火管理

2-2. 消防機関の役割

- 消防組織法に基づく消防機関の責務
- 警防計画の作成と訓練の実施
- 消防相互応援協定の締結

2-3. 地域防災計画における航空機災害対応

- 市町村・都道府県の役割

3. 空港に整備される消防力

3-1. 空港に整備される消防力

- 消防車両・資機材等
- 消防水利
- 空港緊急時対応計画

3-2. 平時からの連携体制の構築

- 消防機関と空港管理者の連携

4. 航空機火災に対する消防戦術

4-1. 航空機火災の特性

- 航空機の構造と燃料特性
- 空港内での航空機火災の特性
- 地上への衝突形態による火災特性

4-2. 消防活動要領

- 空港内での航空機火災対応(胴体着陸時含む。)
- 空港外での航空機火災対応
- 機内進入方法と注意点
- 救助活動要領
- 救急活動要領

4-3. その他の対応事例

- ヘリポートでの航空機火災対応
- 共用空港(自衛隊による消火設備あり)での対応

4-4. 指揮体制の確立

- 現場指揮本部の運営
- 消防団との連携
- 空港消防隊との連携